

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【栄和小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>国語「主語と述語の関係」に係る問題では、3年生以上すべての学年において正答率が低い。正しい主語を選択することができない。<指導上の課題>主語と述語の関係を正しく理解できているが、教師が十分に把握・評価できていない。	⇒ 全学年において、毎日の宿題として「音読」を継続的に取り組ませるとともに、その成果を授業で確認できるようにする。特に国語の授業において「主語と述語」を確認する時間を設定する。【各単元で実施】。毎週金曜日の朝読書の時間を大切に、読み物にふれる機会を多くするとともに、読書の楽しさ・大切さを感じられるような声掛け・指導を行っていく。【毎週実施】。
思考・判断・表現	<学習上の課題>市調査において、「思考・判断・表現」に係る問題はすべての学年において平均正答率に満たない。全国調査においても同様の結果であった。<指導上の課題>学習に対して児童が意欲的ではない傾向が見られる。	⇒ 一人1台端末のさらなる活用を通して、より円滑な「思考」、正確な「判断」につなげていく。【毎日活用】。学校課題研究における個人研修を軸として、「個別最適な学び」を模索しながら豊かに表現できる児童を育成していく。【学校評価アンケート「授業や話し合い活動の中で、自分の考えを進んで発表しようとしていますか。」の項目で経年比較】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

調査結果分析(7~8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)